

委員会視察成果報告書

2025年12月23日

犬山市議会議長
大沢 秀教 様

議員名 増 田 修 治

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2025年 12月 17日(水)
(2) 視 察 地	犬山市立図書館
(3) 視察の種類	常任委員会（民生文教委員会）
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	犬山市立図書館は、平成2年に開館し、蔵書は20万冊超あり、多くの市民利用があり、また様々な取組みを行うことで、貸出冊数も増加傾向にあります。その取組み例として、ブックキャンプがあります。 以前は、教育委員会が駐在していた空間を活用し、キャンプ場のような空間を作り、子ども達を中心に読書を楽しめる空間です。こちらは市民からも大変評判であり、土日は利用者が数多くいる成功事例です。 また、学習室も勉強時間を予約制、時間制限性としており、混雑もしにくい仕組み作りがなされており、限られた空間を使いやすい様工夫がなされておりました。今回、普段の利用とは異なった視点で身近にある図書館を視察したことで、当市の取組みは限られた空間を上手く活用出来ている先進事例であると感じました。また、図書館で行っている各種イベントも多く、子ども達を中心に図書館が身近な存在となれるような取組みをされています。多くの方にご利用頂ける様な工夫を絶えず行っていると感じました。
(5) 犬 山 市 に 対する提言	限られた予算、空間を上手く活用して図書館の魅力度向上に励まれているとは感じましたが、所々で老朽化している箇所も否めません。 ソフト整備に限らず、施設の改修なども進め、永続的に市のシンボルとなる図書館にする為にも改修計画の策定に期待します。 また、子ども達に対しての工夫は素晴らしいと思いましたので、これを糧に全世代、生涯学習施設として運営して頂けることに期待します。

